

カテゴリー		園での取り組み (具体的なアクション内容・それを実現するための具体的な方法・手段)	年度末達成度 (◎・○・△・×)	備考
Ⅰ 子どもの育ちを保障します	幼保連携型認定こども園教育・保育要領、保育所保育指針等に基づき、福井の豊かな環境を生かした質の高い乳幼児の教育・保育を提供します	(1) 発達記録表、KIDS、子育てファイルふくいっ子をつけることで一人一人の発達を理解し職員間で共有する。	(1) ◎	KIDS などを用いて発達を共通理解し、一人一人に応じた丁寧な保育をすることができた。
		(2) 行事の後に反省評価を行い、又保護者にはアンケートを行い、その意見を踏まえて次年度に活かす。	(2) ○	行事ごとに評価反省や保護者アンケートを行い、職員間で共有した。意見や課題は次年度に生かしていく。
		(3) 保育カウンセラー訪問を2回実施し、ケース検討を通して子どもの発達状況や特性を理解する。	(3) ○	ケース会議後の伝達研修の方法に課題が残ったため、次年度検討していきたい。
		(4) 衛生や安全に関する研修や講習会に保育士が参加し、受講後は伝達研修を行い周知徹底する。	(4) ○	感染症の流行期には再度周知する場をもつとよい。
	保育者等の専門性及び資質の向上を図ります	(5) 研究指定園として療育の学びを広げ、通常保育に活かしていく。	(5) ◎	環境設定など通常保育にも療育的視点を積極的に取り入れることができた。
		(6) 園内研修や職員会議で職員同士が学びあい、教育・保育の知識や技術を高め専門性の向上に努める。	(6) ◎	園内研修や会議など職員同士で話し合う場を月2回以上設け保育の質向上に努めた。
		(7) 研修開催案内の情報収集や提供を行い、研修意欲を高め、職員が積極的に研修に取り組めるようにする。	(7) ○	園外やオンラインでの研修に積極的に参加し、研修報告にて職員間で共通理解した。
Ⅱ 子育てライフを支援します	認定こども園、保育所等を利用する保護者への支援の充実を図ります	(8) 保護者の悩みや不安、子への困り感等には、キッズビューの連絡機能等や送迎時の対話等で情報交換し、必要に応じて個人懇談を実施する。	(8) ◎	保護者との連絡を密にし、必要に応じて個人懇談を行うなど、丁寧な保護者支援に努めた。
		(9) 特別な配慮を必要とする家庭や保護者と懇談を行い、情報を共有し、個別に丁寧な支援を行う。	(9) ○	
	地域子育て家庭への支援の充実を図ります	(10) 園開放の日時や情報を提供し地域の子育て家庭の支援を行う。	(10) ○	玄関の見やすい箇所にチラシを掲示し、見学に来た方に呼びかけ、情報提供を行った。
		(11) 福井市の子育て支援に関する情報を提供する。	(11) ○	
		(12) 園開放を通して、随時地域の子育て家庭の相談を受ける。	(12) ○	来園時には積極的に対話し、子育てについての相談に応じるなどの支援を行った。
Ⅲ 多様な連携と協働を進めます	子育て・子育て支援のネットワークの中で認定こども園、保育所等の役割を発揮します	(13) こども家庭センターと連携を図り情報を共有していく。	(13) ○	年間を通して、連携を密にしながら情報共有を行った。
		(14) 環境浄化活動に参加し、地区内の危険箇所点検を実施し、保護者にも周知していく。	(14) ○	環境浄化活動に年間2回参加し、危険箇所の確認を行い、必要に応じて保護者にも周知した。
		(15) 園小連携会議などの機会をもち小学校教諭と情報を共有し、連携を図りながら就学につなげる。	(15) ○	
		(15) 保護者と共にサマリーシートを作成し、就学先の小学校と移行支援を行う。	(16) ◎	サマリーシートの目的について保護者に知らせ、共有しながら作成し、移行支援に役立てた。
	地域の教育・保育機能を強化します	(17) 小学校や地区・公民館で開催される行事に参加し相互理解を深め、積極的に連携を図っていく。	(17) ○	
Ⅳ 子育て文化を育みます	子育てへの関心を高めます	(18) 地域の方と畑や花壇などのお世話を通して触れ合い、園の情報を発信していく。	(18) ○	
		(19) 地域連携会議等で保育園での活動等について伝える機会を持つ。	(19) ○	地域連携会議に2回参加し、園の活動について周知した。
	子育て文化につながる活動を広げます	(20) 地域の方による絵本の読み聞かせを実施し、地域の子育て家庭に参加を呼びかける。	(20) ○	地域の方による絵本読み聞かせを園開も含め、年間7回実施した。
		(21) 地域の夏祭りや文化祭、自然体験等に参加する。	(21) ◎	啓蒙地区の運動会、夏祭り、文化祭などに参加し、交流を深めることができた。
Ⅴ 安心して子どもを生み育てる支援づくりを進めます	子ども・子育て関連3法に基づくこれからの乳幼児の教育・保育について研究を進めます	(22) 研修に参加し、社会の動向や園の在り方について知る。	(22) ○	
		(23) 保育研究合同発表会で一年間の園での研究を発表する。	(23) ◎	職員間で打ち合わせを30回以上行い、保護者支援と子どもの育ちについて研究し、発表した。
	社会連帯による子育て支援の仕組みづくりを進めます	(24) アクションプログラムに基づいた活動計画案作成して実施し、評価していく。	(24) ○	活動計画案におおむね基づきながら、意識をして業務にあたることができた。

《園での取組み》 24のアクションから、取り組む内容(番号)と具体的な取組みを記載する。

《達成度》 ◎：当初計画していた目標を大きく上回り、優れた成果を上げた。 ○：計画どおりに取り組み、概ね目標を達成することができた。 △：不足する部分や問題があった。 ×：目標を達成することができなかった。

《備考》 達成度についての特記事項や次年度に引き継ぎたいことなどを記載する。